

虎視眈々

第65回

ニューカマーの方程式

『GPRO』
コンパクトな手のひらサイズ
場所を選ばず手軽に利用可能な
『SkyTrak』



「いつでも、どこでも、誰にでも」の『SkyTrak』
[現在、取扱店を募集中です] (西並氏)

方程式①
高精度・機動性・低価格
三拍子揃った弾道測定機

「日進月歩」――。

日に、月に、絶え間なく進歩し発展するという意味だが、ゴルフ用品もまた然り。それは、パーシモンからメタル、チタンへと変遷したドライバーだけでなく、プレーヤーの球筋に対する意識もそうかもしれない。

というのも、昔前は自分のスピン量やボール初速、打出し角といった詳細なデータに無関心なゴルファーが多かった。しかし、ここ数年、カスタム系シャフトの台頭↓調整機能付きクラブヘッドの

登場↓クラブメーカーのフィッティング技術向上など、個々に最適なクラブ選びやスペック調整が、一般ゴルファーにも浸透した。そこで、ベストな球筋を分析できる「弾道測定機」の需要も高まっている。

今回紹介するGPRO（ジープロ）は、ゴルフシミュレーターの開発・販売、ゴルフコースの3D制作、ゲームプログラミング開発などを主業務とする企業。本社は兵庫県で、国内拠点は東京を含む計5ヶ所。韓国や中国にも支店を構え、従業員数は国内外合わせて40名ほど。東京営業部の西並徹氏が詳細を次のように説明する。

「当社は1997年6月に設立さ

れました。蓄積された経験とノウハウを基に、ゴルフシミュレーターの開発と製造に着手しており、2008年からアジア全域にわたりゴルフシミュレーターの販売をはじめたのです。現在はクラブメーカー、工房、ゴルフスクール、複合スポーツ施設、ゴルフバーなどに導入実績があります」

同社はこれまで、ゴルフシミュレーター『XSwing』の開発から販売、さらにAccusport社が提供する弾道測定機『Accuvector』のアジア圏代理店も担ってきた。ゴルフ業界における知名度は低いが、着々と実績を重ねている。

その同社が今年2月のジャパンゴルフフェアでお披露目したのが『SkyTrak（スカイ・トラック）』だ。西並氏が続ける。

「『SkyTrak』は高精度・高性能、小型軽量化による携帯性・機動性を備えた弾道測定機です。測定はカメラ型センサーを利用するもので、接続方法はUSBのほか、WiFi転送による瞬時の測定（1秒以内）も可能です。さらにバッテリー内蔵のため、誰でもどこでも気軽に測定できることが特徴です」

詳細は「今月の仕入れ情報」に記載したので割愛するが、同製品



は今年5月、ゴルフ業界関係者向けに先行発売。9月には一般ゴルフアターの要望に応えるため、一般販売に踏み切った。

弾道測定機の代表格として『TRACKMAN』（参考価格200万円）や『GC2』（同83万円）などが挙げられるが、一般ゴルフアターが自分の弾道を測定するために購入するには高額だ。

「そうですね。当社の製品は本体価格で22万円（モバイル版ベージック）と、他社に比べて低価格を実現しました。また、本体サイズは147mm×173mm×62mm（725g）で、市販される弾道測定機のなかでは最小サイズです。これで、ライバル製品と同等以上の性能を備えているのです。特に失敗談はありませんが、強いて挙げれば、この価格で精度を落とさず、小型軽量化を実現するのが難しかったです。研究開発に2年

の歳月を費やしました」

サイズは、ゴルフボールのダース箱程度だから、キャディバッグやビジネスバッグでの持ち運びも簡単。屋内外問わず使用できるため、練習やフィッティング、レッスンなど、様々なシチュエーションで活躍してくれそう。

方程式② ゴルフ産業の活性化に尽力

ちなみにこの製品、「ニッポンのゴルフアターに世界基準のデータ分析を」をコンセプトに掲げている。どういったことか？ 実は同社には、ゴルフ界に対する深い思い入れがある。

「昨今、米PGAツアーの選手も筆頭に、国内男子ツアーの選手も『TRACKMAN』や『GC2』を個人購入する傾向が増えていきます。そこで当社は、『SkyTrak』の発売でプロ・アマ問わず、ゴルフアターの技術向上を安価で実現しようと考えました。これまでに必要性を感じながらも高く購入できなかったスクール関係者、練習場やクラブフィッターなど様々な方に購入して頂き、ビジネス繁栄の一助となりたいのです」

そのような思いが実り、今年7月には『日本プロゴルフ協会推薦

品』として認定された。弾道測定機では初めてだという。

「これまではティーチングプロ個人の感覚で教えていましたが、きちんと数値化して分析できるようになります。飛距離などの数値が向上すればレッスンにも説得力が増し、信頼度も高まります。すると生徒も欲が出て、ゴルフがもっと好きになる。上達意欲も高まるでしょう」

確かに、ビデオを見ながらスイングの安定を図るのはティーチングプロの役目ではある。しかし、弾道測定をしながら、ちよつとしたゲーム感覚を取り入れて、データ分析するのもゴルフの楽しみ方のひとつだろう。

『SkyTrak』は、ゴルフビジネスの活性化につながる製品だと確信しています！」

方程式③ 将来的にはネットワーク対戦も

最後に今後の展開と目標を聞いてみた。

「まず、年内の正式リリースに向けて『モバイル版PRO』という別アプリの開発を進めています。このアプリは3D練習場モードやフィッティングモードを備えています。また、来春にはドラゴンや

ニアピンといったゲーム機能を搭載したアプリも投入予定。2015年度はこれら『モバイル版SkyTrak』に特化して、日本と米国を中心に1万2000個を販売目標としております。その後欧州、豪州などへの展開も視野に入れていきます」

と、世界制覇に向けて邁進中。これとは別に、一般ユーザー向けに『SkyTrak』間でのネットワーク対戦ゲームも開発していくという。手軽な測定機を媒介して、ビジネスの青写真は広がる一方。それを実現させているのが「安価」であることは言うまでもない。

「今後もユーザーの意見や要望を取り入れながら、精度や機能の向上に努めます。開発努力は惜しみません」――。

（取材・構成 高見澤祐二）

■企業情報

株式会社GPRO(ジープロ)

〒661-0012

兵庫県尼崎市南塚口町5-14-12

TEL:06-6428-6777

FAX:06-6428-0071

E-mail: info@gpronet.com

URL: http://www.sky-trak.com

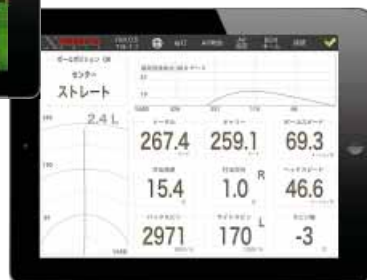
手軽に使える最新鋭ゴルフ弾道測定機『SkyTrak』



問い合わせ先：GPRO TEL 06-6428-6777

ゴルフシミュレーター『XSwing』を提供するGPROはこのたび、多様性と低価格化を追求した最新鋭ゴルフ弾道測定機『SkyTrak(スカイ・トラック)』の一般発売を開始。同製品は本年5月、ゴルフ業界関係者向けに先行発売していたが、今回、多くの要望に応えるため、一般ゴルフファ

ーへの販売に踏み切ったもの。同製品はコンパクトな手のひらサイズを実現した最新型の弾道測定機。ゴルフバックはもちろん、ビジネスバックでの持ち運びも可能だから、室内外問わず、クラブフittings、ゴルフレッスン、自宅の一室や庭、ガレージなど、様々な場所や用途で利用がでさう。特徴はなんといっても、軽量・小型による機動性だらう。本体重量725g、サイズ147mm×173mm×62mmで、現在販売中の弾



道測定機のなかで最小サイズにあたるという。また、価格も従来にないリーズナブルな設定で、本体価格は22万円(モバイル版ベシック)を実現。それだけではない。このサイズと価格帯で、既存の他社製品と同等以上の測定精度と性能を有しているのが最大の特徴といっても過言ではないだらう。同社によれば、「本製品は、高精度・高性能・小型軽量・低価格を実現したモデル。また、従来のUSB接続に加え、急速普及するWiFi対応も可能としました。俊敏な起動(1秒以内)、利用可能セットアップまで30秒以内です。さらに、左右打席どちらでも対応可能で、測定する際にボールにマークを付ける必要もありません。長時間バッテリーで4時間以上の利用が可能で、AC電源にも対応しております」

ちなみに、測定は飛距離、ボールスピード、ヘッドスピード、打出し角、サイドアングル、サイドスピン、バックスピン、スピン軸となる。計測結果の表示は、別途タブレット端末などが必要。使い方は簡単で、本体電源を入れ、専用アプリをダウンロードした手持ちのタブレット端末とWiFi接続するだけ。あとは、赤外線センサー部にボールを置いて打てば測定結果が表示される。工房でのフittings、ティーチングプロが個人でレッスン、学校の部活動で導入するなど、さまざまな用途がありそう。22万円という価格なら、ちょっと頑張れば個人でも購入できそうな価格だから、自分専用で所有してもよさそうだ。今後、人気の商材になりそう。現在、取扱店も募集しているそうだから、興味のあるショップ・専門店・バイヤーは問い合わせされたし。

「本製品は、高精度・高性能・小型軽量・低価格を実現したモデル。また、従来のUSB接続に加え、急速普及するWiFi対応も可能としました。俊敏な起動(1秒以内)、利用可能セットアップまで30秒以内です。さらに、左右打席どちらでも対応可能で、測定する際にボールにマークを付ける必要もありません。長時間バッテリーで4時間以上の利用が可能で、AC電源にも対応しております」

ちなみに、測定は飛距離、ボールスピード、ヘッドスピード、打出し角、サイドアングル、サイドスピン、バックスピン、スピン軸となる。計測結果の表示は、別途タブレット端末などが必要。使い方は簡単で、本体電源を入れ、専用アプリをダウンロードした手持ちのタブレット端末とWiFi接続するだけ。あとは、赤外線センサー部にボールを置いて打てば測定結果が表示される。工房でのフittings、ティーチングプロが個人でレッスン、学校の部活動で導入するなど、さまざまな用途がありそう。22万円という価格なら、ちょっと頑張れば個人でも購入できそうな価格だから、自分専用で所有してもよさそうだ。今後、人気の商材になりそう。現在、取扱店も募集しているそうだから、興味のあるショップ・専門店・バイヤーは問い合わせされたし。

発売日：発売中
価格：本文参照